

もの忘れ検査入院のご案内

* もの忘れ検査入院の目的

「もの忘れ検査入院」は、精神科を中心として、他科と連携をとりながら、認知症の診断確定と治療方針の提案を行います。通常であれば外来通院で行う認知症診断検査を、入院にて検査を集約して実施する為、早期診断が可能となります。もの忘れ/認知症は、早期発見する事で進行を遅らせる事ができると共に、今ある生活の継続へとつながっていきます。認知症になっても、なっていないくても、すべての住民が安心して暮らせることを目的に、当院では「もの忘れ検査入院」を2023年12月から開始しました。

* もの忘れ検査入院の利用対象

ご自身がもの忘れ検査入院を希望する方

この「もの忘れ検査入院」は、希望があれば受けられます。気になっていたけれど、どこで検査を受けていいのかわからないと思っている方、検査は受けたいけれど通院しながらの検査は気が引ける方は、ぜひ一度ご相談ください。

※認知症状が顕著であり生活で既に対応に困る状態の方、ご自身では入院意向確認ができない場合は、もの忘れ検査入院の適応とはならず、他提案となる場合もあります。

* もの忘れ検査入院の予約方法

予約窓口は、佐渡総合病院 認知症疾患医療センターとなります。窓口では、①外来受診日と入院日調整対応 ②受診前問診 ③もの忘れ検査入院 の説明を行います。検査入院に関して不明な点は、認知症疾患医療センターまでご連絡ください。

* 外来受診

受診当日、可能な場合はご家族様の同行をお願いしています。外来診察では、当日問診、精神科医師診察、神経学的検査等実施してまいります。

* もの忘れ検査入院について

基本として、精神科病棟(閉鎖病棟)での2泊3日の任意入院(本人の同意による入院)となります。検査内容は多岐に渡ります。頭部CT/MRI(放射線診断科)、※SPECT(脳血流検査)、神経心理学検査(問診検査)、採血/採尿/胸部レントゲン/心電図(一般検査)、鑑別診断に必要な検査を実施、検査結果を統合的に評価し鑑別診断へと繋げていきます。

※SPECT検査とは、脳血流程度を確認する事ができる検査となります。脳のどの部分の血流が低下しているか判別する事で認知症鑑別診断に役立つ検査です。検査では、造影剤の使用も必要になります。

* もの忘れ検査入院後の結果説明について

退院後、精神科外来で検査結果の説明をします。患者さん、ご家族には、外来診察で結果を説明いたします。この結果説明時は、鑑別診断結果と共に、治療の提案・方向性の提示を説明いたします。また希望に応じて、介護保険などの社会サービスや社会保障制度に関して、当院の認知症疾患医療センター、精神保健福祉士より制度の説明や情報提供も可能です。診断後の生活への不安等ございましたらその旨も外来診察時に伺いながら、必要な支援の提供を行います。また、ご紹介いただいたの入院の場合は、紹介元かかりつけ医の先生にも鑑別診断結果、及び治療の提案等、情報共有を行います。

* もの忘れ検査入院の流れ

①受診相談

担当窓口(認知症疾患医療センター)に電話で申込を行う。

②診察・入院日の決定と、受診前予診と入院説明の実施

申込を受けたのち担当者と受診前予診の日程相談(面談又は電話での聴き取り)、外来受診・入院日の調整を実施。入院に関しての説明を行う。

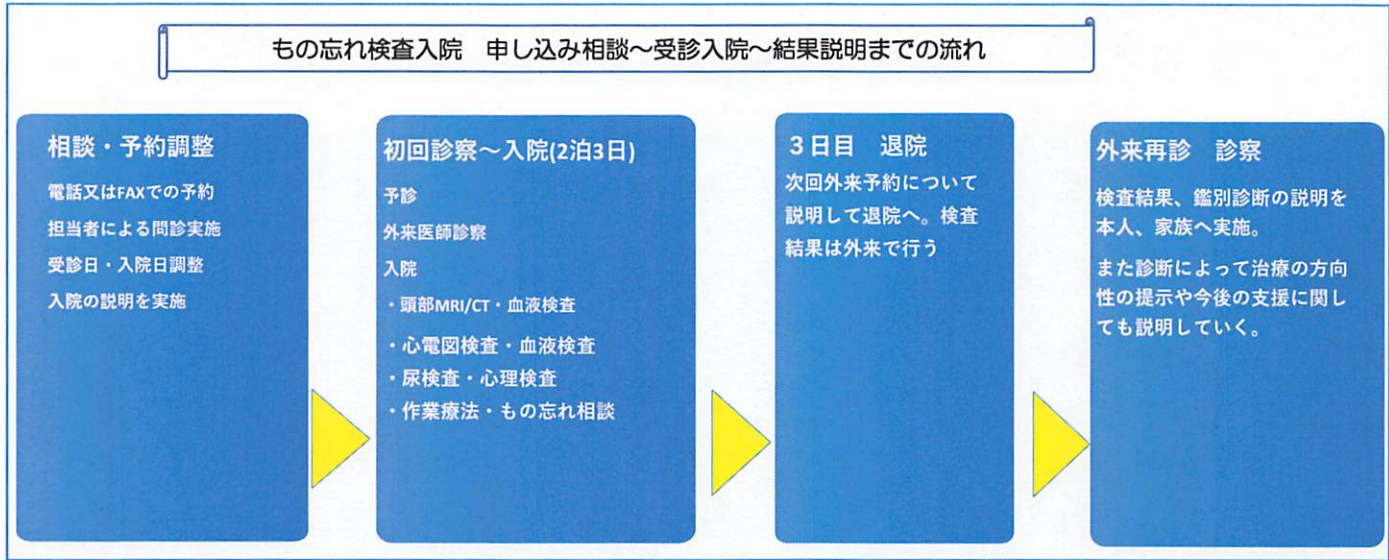
③入院～退院(2泊3日)

入院当日は、精神科外来にて精神科医師の診察を受けて入院へ。入院当日から退院までは、認知症鑑別に必要な各検査を実施する。

④退院

⑤精神科外来 再来受診

検査結果説明を退院後精神科外来にて実施。患者さん、ご家族の同席をいただき、精神科医師より説明する。
時間は30分～1時間程度。



佐渡総合病院 認知症疾患医療センター

場 所：2階 総合サポートセンターひまわり内

電 話：0259-63-3121（代表）

受付時間：8：30～17：00